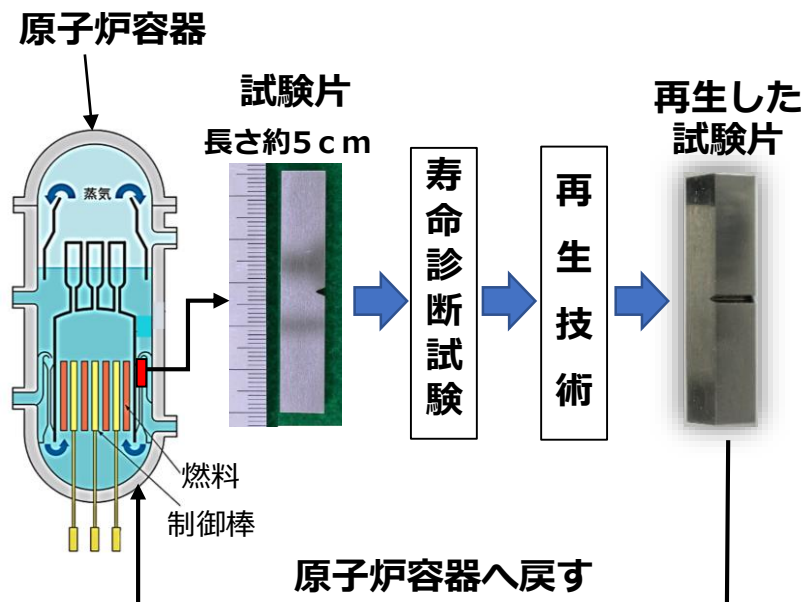


『原子炉の寿命評価のための技術開発』

第16回のコラムは、原子炉容器の寿命をどのように判断するかについてのおはなしです。



原子炉容器の寿命診断を行うための試験片の再生技術



原子炉容器の寿命を確認するため、容器と同じ材料で作った「試験片」が原子炉に入っています。この「試験片」を定期的に取り出して原子炉に問題ないことを確認しています。

原子力発電所の運転期間が延長されたことにより、原子炉容器の寿命を確認する試験回数が増えるため、新たに「試験片」を作成する必要があります。

大洗町の**日本核燃料開発株式会社（NFD）**では、試験済の「試験片」から新たな「試験片」を再生する技術を開発しています。



東日本で主流の沸騰水型原子炉においては、NFD社のみで行われている取組みじゃぞ。

問合せ 生活環境課 防災・原子力安全係 267-5111（内線246）